



こすもスマイル



発行／小林市立病院
地域医療連携室

18号

平成28年 3月 1日発行

～医局長のあいさつ～



例年より暖かい冬とはいえまだまだ朝晩寒さが身に染みる日々ですが、皆様にはますますご健勝の事とお喜び申し上げます。いつも一方ならぬお力添えにあずかり、誠にありがとうございます。

2016年もはや2カ月が過ぎようとしていますが、日々の業務に追われ時間がたつのは感じられない毎が続いています。私は平成17年に当院に赴任し、今年で12年目を迎えます。自治医科大学を卒業後10年間義務を終え、現事業管理者の坪内先生の誘いで赴任しました。奄美大島の僻地診療所からの赴任でしたので、小林に移住しマクドナルドやコンビニエンスがある生活に、都会に来た錯覚を感じたのを覚えています。

外科としては当時ほぼ素人同然でしたが、坪内先生や徳田先生に指導を受けながら約11年間消化器外科医師として外科業務を主に携わってきました。しかし赴任以降大学病院からの医師派遣中止で内科医師、小児科医師を中心に医師数が減少し、また救急科の新設により救急搬送数が2倍近くになり、赴任当時に比べ明らかに負担が増えてきました。歳をとる毎に偉くなり楽になる予定でしたが、歳をとる毎に休みがなくなっていく現実に日々葛藤の毎日です。

3年ほどの勤務予定でしたが、はや12年目になりまったく予想もしてなかった展開に流されつつありますが、医師になり20年の節目を過ぎ、この先の目標を新たに決めようかと考えています。

現在は悪性疾患の手術、化学療法、腹膜炎等の緊急手術等を主な業務としていますが、高齢者が多く手術後も早期に自宅退院できない患者さんや悪性疾患の終末期でなかなか自宅療養ができない患者さんも多いです。そのため近隣の先生方や介護サービスの方にもご協力いただき、何とか診療ができています。しかし医師不足で十分な受け入れができず、ご迷惑をおかけしているところもあるかと思えます。微力ではありますが、もう少し坪内先生と徳田先生にお世話になりながら、西諸医療圏の医療向上の手助けをできればと考えております。

小林市立病院 医局長 島名 昭彦

理 念

「安心、安全で信頼される病院を目指します」

【基本方針】

- ◎ 西諸の中核病院として、地域の医療機関と連携し、高度な医療を提供します
- ◎ 職員一丸となって、迅速な対応とチーム医療で、安全な医療を提供します
- ◎ 誠実かつ真摯(しんし)な姿勢で日々研鑽(けんさん)に努め、信頼される質の高い医療を提供します
- ◎ 自治体病院として、平等で心が通い合い、安心できる快適な療養環境を提供します
- ◎ 患者様と家族の満足を追求し、プライバシーの保護をはじめ患者様の権利を尊重します



診療部紹介

今回は

泌 尿 器 科

です。

日頃より大変お世話になりありがとうございます。

平成26年4月から森勝久、川越真理の2名で診療にあたらせていただき、間もなく2年が経とうとしています。西諸医療圏の医療機関よりたくさんの患者さんをご紹介いただき、日々の外来診療、血液浄化療法（血液透析など）や手術など従事させていただいています。

手術はこれまでと同様に、前立腺癌、腎盂尿管癌、腎癌など悪性腫瘍に対するものや、尿路結石手術が多いですが、やはり最近は低侵襲な腹腔鏡や尿管鏡を用いた内視鏡手術が多くなっています。当院では、昨年7月から手術室に3D内視鏡システムが導入されましたので、より細かくクリアな術野を確保することが可能になり、精度の高い手術を提供することができると考えています。また、低侵襲手術により術後の患者さんの回復も早く、早期離床、早期退院が可能となっています。早期に家庭復帰、社会復帰できることで、入院による高齢者の認知症状の増悪も少しは防げるのではないかと思います。



また、1月には西諸地区透析技術者交流会主催のもと、都城・西諸地区腎移植講演会と銘打って鹿児島大学病院泌尿器科より山田保俊先生をお呼びして、腎移植の勉強会を行いました。西諸地区の透析施設だけでなく、都城地区からも透析に携わるさまざまなスタッフに参加していただきました。生体腎移植や献腎移植の現在の成績や、患者さんが実際に支払う医療費などについても具体的に知ることができました。このことをそれぞれの施設で患者さんに還元していければと思っています。

今後も積極的な研究会、学会参加をして、中央に置いていかれてしまいがちな地域医療にならないよう、泌尿器科診療の質の向上を図り二人で努力してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



泌尿器科医長 川越 真理

看護部紹介

今回は

3 階 病 棟

です。

3階病棟は看護師 27 名、看護補助者 7 名、クーク 2 名、管理栄養士 1 名が勤務しています。病床数は 45 床で入院される患者さんは、尿路系の泌尿器科疾患と、骨関節系の整形外科の患者さんが主ですが、消化器外科、救急科、内科等の患者さんも少なくありません。今回は一緒に働いているスタッフの紹介をします。



クーク：田原 かおりさん

特技) 着付け

声) 主に入院案内や電話対応、文書の授受・確認、患者さんや御家族への対応、医師、看護師からの依頼対応等といった事務処理をしています。人と接する仕事ですので声を気軽にかけてもらえるような雰囲気、笑顔に心がけています。

薬剤管理看護師：四元 亜紀さん

特技) サッカー観戦

声) 入職して 5 ヶ月目になります。勤務して内服薬の多さに驚きました。業務内容は、主治医の指示後に薬剤鑑別書と持参数を確認しながら、継続薬を作成しています。また毎日の配薬準備も担当しています。



看護師：吉村 直美さん

特技) ゴルフ

声) 入職 3 年目です。笑顔を絶やさず毎日楽しく働いています。日々勉強して患者さんに安心、安全な看護を提供できるように努力しています。

看護補助者：倉岡 彩友実さん

特技) 中・高と陸上部に所属しており社会人では企業で陸上部に所属していました。

声) 入職して 6 ヶ月目です。陸上を通して自己の体調管理に常に気を使っていたので他人の手助けになる様な医療や福祉の仕事がしたいと思いました。初めての経験で驚く事や不安な事もありました。これからも思いやりの気持ちを第一にがんばって行きたいです。



3階病棟主任 橋爪 由美 佐土瀬 さつき

クリスマスコンサート

当院の1階エントランスホールにて平成27年12月12日に5回目のクリスマスコンサートを開催いたしました。毎年、地域医療を考える会の方々をはじめといたくさんの方の御協力でご入院患者さんや患者さんのご家族へ楽しいひとときをお過ごしいただいています。

今回のコンサートでは、院内保育所もみの木保育園の園児によるゆうぎ、小学生によるピアノ演奏、アダージョの皆さんによるバイオリン・電子ピアノ演奏などが行われました。



地域医療を
考える会



もみのき保育園



アダージョの皆さん



3月 行事食 「ひなまつり」

- ・ 春色ちらし寿司
- ・ 白身魚の桜蒸し
- ・ 菜の花のかき揚げ
- ・ そうめん汁
- ・ ひなあられ

お品書き



酢飯のピンク色の謎！！

紫キャベツに含まれるアントシアニンという色素と酢が反応してピンク色になります。

～春色ちらし寿司のレシピ～

材料（4人分）

- ・ 米2合 ・ だし昆布3枚
- ・ すし酢（酢30g 砂糖20g 塩2g）
- ・ 紫キャベツ 40g ・ 絹さや 4g
- ・ 花形人参 60g ・ むき海老 40g
- ・ 錦糸たまご 40g

作り方

1. 紫キャベツをみじん切りにします。
2. 米を炊く時にだし昆布と紫キャベツを入れて炊きます。
3. 炊き上がったご飯からだし昆布を取り出し、すし酢を混ぜて酢飯を作ります。
4. 絹さや、花型人参、むき海老、錦糸たまごを綺麗に飾り付けて完成です。



第20回症例検討会

平成28年1月29日（金）に「第20回症例検討会」を当院2階大会議室にて開催しました。今回は、院外から2人の方に発表をして頂きました。また、大勢の方々にもお越し頂き、大変充実した会となりました。ありがとうございました。

第20回症例検討会

日時：平成27年1月29日（金）18時30分～ 参加人数 92名

座長：小林市立病院 院長 徳田 浩喜

演題（発表者）

1. 大腿骨近位部骨折の治療と麻酔

整形外科 伊集院 俊郎



2. キシロカイン入りの氷を併用した咽頭麻酔の工夫 ～患者アンケートを用いた検討～

榎内視鏡内科病院 富満 弥生



3. 広汎性発達障害者の地域移行と現状 ～CPを含めた関わりからみえてきたもの～

内村病院 藏元 丈史



4. 共用基準範囲の導入に向けて

臨床検査室 中屋敷 一美



5. 一般病棟で化学療法を受ける患者への関わりを振り返って

5階病棟 吉満 まゆみ



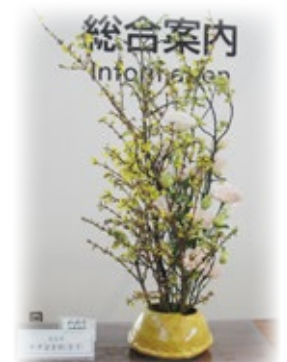
6. 早期の診療科連携により治癒しえたフルニエ壊疽の1例

泌尿器科 森 勝久



今回のお花

小林華道連盟より
毎週すばらしいお花をいただいております。



神経内科の診療体制が変更になります！

4月より神経内科の担当医および診療日が変更になります。

診察はこれまでどおり予約制となっておりますので、FAX および TEL にてご予約ください。

また、4月・5月の日程につきましては下記のとおりとなっておりますが、変更になる場合がございますので、地域医療連携室までお問い合わせください。

ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。



4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7 安藤 匡宏	8	9
10	11	12 田代 雄一	13	14	15	16
17	18	19	20	21 平松 有	22	23
24	25	26 西郷 隆二	27	28	29	30

5月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10 田代 雄一	11	12 安藤 匡宏	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24 西郷 隆二	25	26 平松 有	27	28
29	30	31				

診察予約について

当診療科での待ち時間短縮を目的として
紹介患者さんの事前予約を行っております！



予約方法

- ①別添の「診療予約申込書」にご記入のうえ、FAX でお送りください。
- ②担当科と協議の上、診療日時を決定し、「診療予約通知書」をFAX させていただきます。

FAX 番号：0984-23-8226

受付時間：9時～16時

※時間以外のFAXは翌朝、休日をはさむ場合は
休日明けの対応となりますのでご了承ください。

連絡先 小林立病院 地域医療連携室

TEL 0984-23-8225 (直通)

FAX 0984-23-8226

編集後記

今年も早1ヶ月が過ぎ、冬の寒さも和らぎ春の訪れを感じる季節となりました。
皆さんはどのようにお過ごしでしょうか？私事ではありますが、こちらで内定を頂き入社し1年が経ちました。初めての就職に緊張と不安の毎日ですが、先輩方に優しくご指導して頂きとても充実した時間を送らせて頂いております。慣れない事ばかりで失敗も多々ありご迷惑をかけてばかりですが、立派な一人前の社会人になれるよう日々努力して参りたいと思います。

医師事務作業補助 出水 希望